

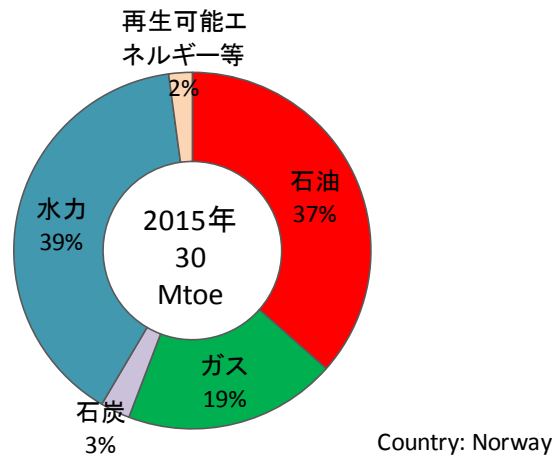
2-13 ノルウェー

1. サマリー

1. エネルギー事情

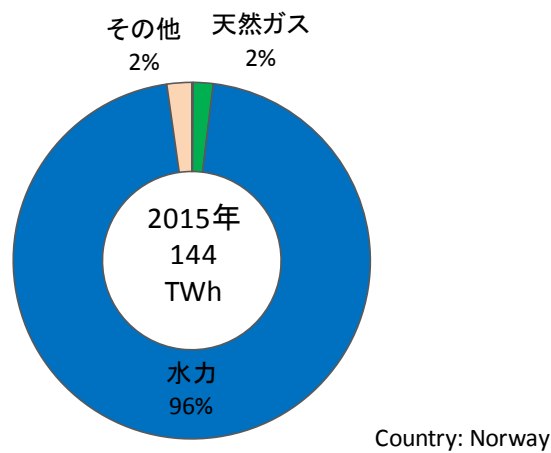
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 30 百万 toe (日本の 0.07 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 5.82toe (同 1.69 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 681%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 35.3 百万 CO₂ 換算 ton (同約 3.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2014年) : 6.87 CO₂ 換算 ton (同約 73.5%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2015 年末) 石油 (11.3 年)、天然ガス (15.9 年)

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- ノルウェーのエネルギー政策は、石油・エネルギー省 (Ministry of Petroleum and Energy) が石油・ガス関連について管轄し、2016年12月現在、Terje Sy of Pe氏が大臣を務める。環境省 (Ministry of Climate and Environment) は温室効果ガスの排出量削減など環境面の取り組みについて管轄し、2016年12月現在、Vidar Helgesen氏が大臣を務める。

(2) 基本政策

- 2011年に発表した「石油開発に関する白書」のなかで、自国の石油・天然ガス資源を長期的な視点に立って生産し、その利益をもって国民の生活向上に貢献することを基本としている。また資源の管理は健康や安全、環境に配慮して行い、環境及び気候変動対策と整合を取る。
- 気候変動対策と言う点では、2012年に発表した「環境政策白書」のなかで、温室効果ガスの削減と環境技術の促進に向けて様々な施策を行うことを計画し、特に気候・エネルギー基金の新設、石油・天然ガス開発産業に対するCO₂税の引き上げ、及び公共交通機関の充実を重視している。

(3) 最近の動向

- ノルウェーの石油確認埋蔵量と生産量はともに2001年をピークに、明らかな減少傾向にある。天然ガスは、可採埋蔵量は2003年をピークに緩やかに減少する傾向が見られる一方、生産量は概ね一定量を維持している。同国にとって石油・天然ガスの開発と欧州向けを中心とした輸出は、GDPの約15% (2014年)、輸出の約57% (2014年)、税収の29% (2013年) を担う一大産業であり、資源の減退傾向は同国経済の将来の不安要素となっている。同時に欧州諸国にとっても、同じ経済圏を構成するノルウェーからの石油、天然ガス供給量の減少は、エネルギー安全保障上の懸案となっている。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本はノルウェーから原油を2010年から2014年にかけてそれぞれ63,161kl、0kl、0kl、72,962kl、58,683klを輸入し、2015年～2016年3月まで輸入はない。LNGに関してはスポットで輸入実績があり、2012年から2015年にかけてそれぞれ41万ton、31万ton、35万ton、6万tonを輸入し、2016年のLNG輸入はない。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Norway

(2015年)

| | | |
|--|------------|------------------------------|
| (1) 一次エネルギー供給量 | | 30 Mtoe |
| (2) 一人当たりの一次エネルギー供給 | | 5.82 toe/人 |
| (3) GDP当たりの一次エネルギー供給 | | 0.07 toe/千ドル |
| (4) エネルギー自給率 | | 681 % |
| (5) エネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年) | | 35.3 百万CO ₂ 換算ton |
| (6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量(2014年) | | 6.87 CO ₂ 換算ton/人 |
| (7) エネルギー源別構成率 | 石炭 | 3 % |
| | 石油 | 37 % |
| | 天然ガス | 19 % |
| | 原子力 | 0 % |
| | 水力 | 39 % |
| | 再生可能エネルギー等 | 2 % |
| (8) エネルギーの輸入依存度 | | -581 % |
| (9) 石油の輸入依存度 | | -705 % |
| (10) 輸入原油の中東依存度 | | 0.0 % |
| (11) 原油の輸出先 | 第1位 | 英国 |
| | 第2位 | オランダ |
| | 第3位 | ドイツ |

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2016, IEA